



1 国立高等専門学校とは

高等専門学校(高専・KOSEN)は、「技術立国」として世界をリードする未来の技術者=エンジニアを養成する学校です。

国立高専は、北海道から沖縄まで、日本全国に51校設置されています。

高専で学べる専門分野

機械系、材料系
学科



化学系、生物系
学科



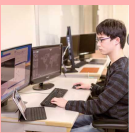
電気・電子系
学科



商船系 学科



情報系 学科



社会的ニーズに対応した分野の学科



建設系・建築系
学科



複合系 学科



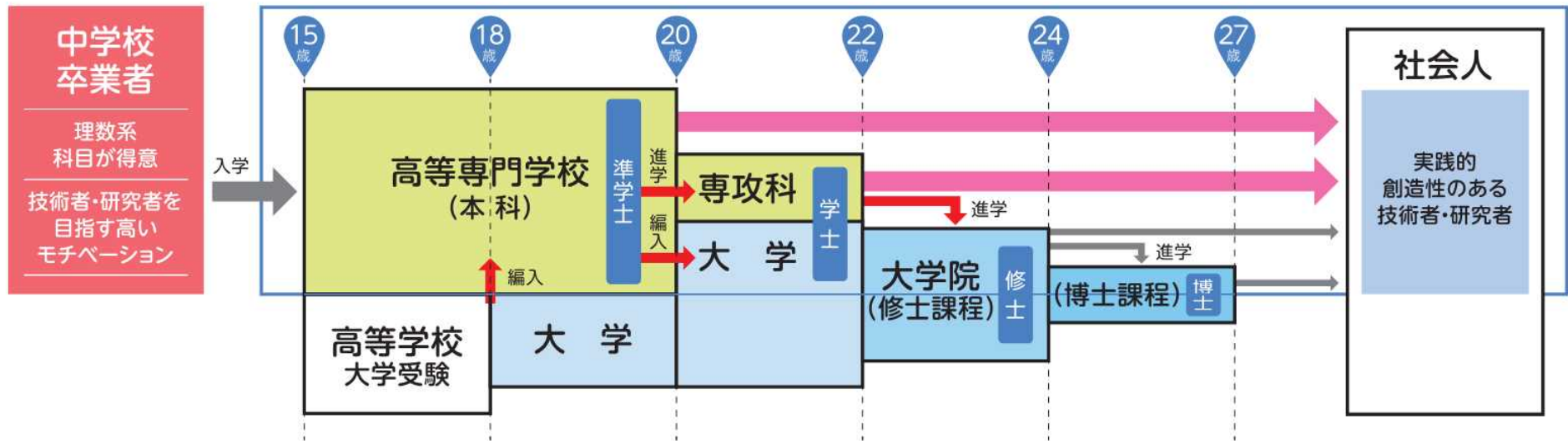
国立高等専門学校DATA

学生数	本科	48,066人
	専攻科	2,900人
教員数		3,504人
職員数		2,402人

(令和5年5月1日現在)

中学校を卒業後5年間の一貫教育で、実験・実習を重視した実践的な専門教育を実施し、卒業時には大学とほぼ同程度の専門的な知識・技術を身につけます。

本科卒業後、すぐに就職して即戦力として活躍したり、専攻科の進学や大学への編入学により、専門的知識・技術をさらに高める道を選択する学生もいます。



● 卒業生の進路

国立大学への進学が多数!

- ・北海道大学
- ・東北大学
- ・東京大学
- ・東京工業大学
- ・名古屋大学
- ・東京農工大学
- ・大阪大学
- ・広島大学
- ・九州大学
- ・長岡技術科学大学
- ・豊橋科学技術大学
- ・各高専専攻科 etc.



有名企業への就職が多数!

- ・東海旅客鉄道株式会社
- ・旭化成株式会社
- ・ENEOS株式会社
- ・出光興産株式会社
- ・ダイキン工業株式会社
- ・関西電力株式会社
- ・株式会社メンバーズ
- ・国土交通省
- ・株式会社SUBARU
- ・本田技研工業株式会社 etc.

- ・就職率はほぼ100%!
- ・多くの卒業生がチーフエンジニアや研究者になって活躍

2 高等専門学校機構本部の施設系職員と高等専門学校の施設系職員

共通点

学生や教職員、地域の人など誰もが安心して利用することができる、安全・安心な国立高等専門学校の建物をつくります。

高等専門学校の施設系職員

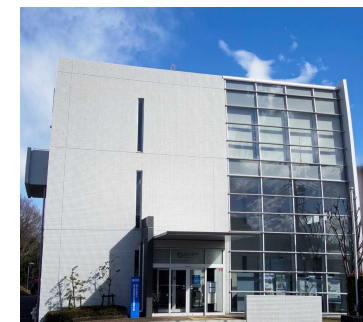
「各高専に勤務しながら、所属する高専の施設整備を行います」



相違点

高専機構本部の施設系職員

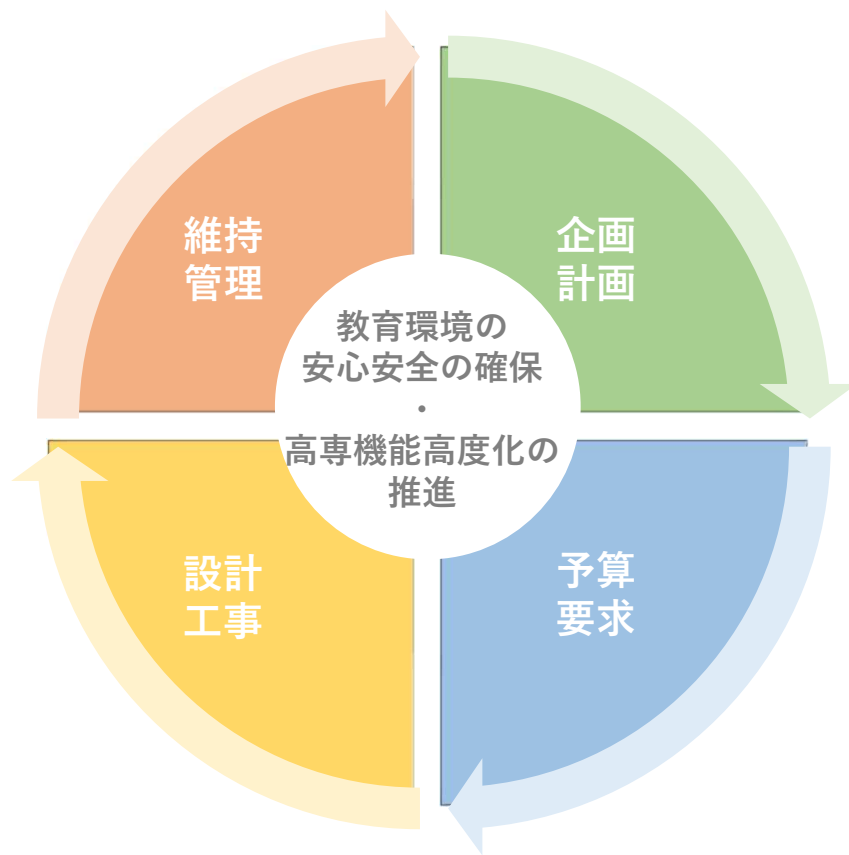
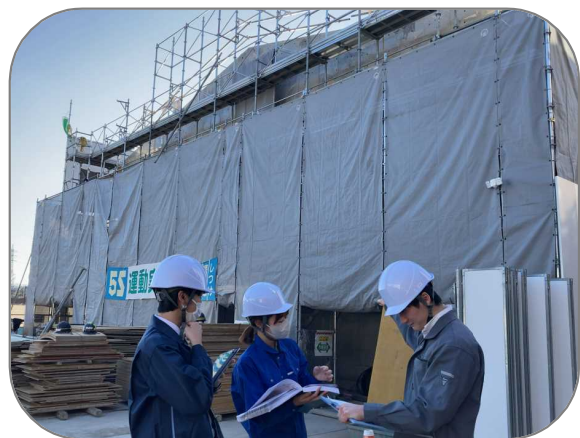
「東京の機構本部に勤務しながら、全国の高等専門学校の施設整備を支えます」



・高専の施設整備や維持管理は、基本的には各高専の施設系職員が行います。

しかし、各高専の施設系職員は2～3名で、建物の計画・設計から工事、維持管理に至る専門的で膨大な業務を全て実施するのは困難です。（1校当たりの面積は高等学校の約3倍！）

・そこで、専門的な知識をもった高専機構本部の職員が、文部科学省と調整して必要な予算を確保したり、各高専の施設系職員が円滑に施設整備を行えるように業務をサポートしつつ、一緒によりよいキャンパス空間を創造しています。



高等専門学校の施設系職員

高専機構本部の施設系職員

<ul style="list-style-type: none"> ▪ キャンパス整備計画の作成。 ▪ 現地調査や利用者のヒアリング。 ▪ 具体的な改築・改修計画の作成。 	<p>企画 計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 高専全体の施設整備方針の決定。 ▪ 各高専向けの手引き等の作成。 ▪ 講習会の実施。
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 策定した計画を機構と共にブラッシュアップ。 	<p>予算 要求</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 各高専の計画の確認・ブラッシュアップ。 ▪ 国に予算要求。
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 工事発注のための設計。 ▪ 工事業者の決定。 ▪ 工事管理、各種検査の実施。 	<p>設計 工事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 進捗の確認、フォローアップ。 ▪ 各種検査への立ち会い。
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 施設の保守管理。 ▪ 施設の状況調査。 	<p>維持 管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 全国の高専施設の状況や保守管理状況を収集・分析。

4 高専機構施設部の業務

企画 計画

- ・ 国の厳しい財政状況を踏まえ、計画的・重点的に施設整備を進める必要があります。有識者や文部科学省とも打合せを重ねつつ、高専施設全体の基本的な方向性や計画を策定していきます。
- ・ 施設整備の経験が少ない高専職員でも安心して施設整備ができるよう、講習会を開催したり、手引きやチェックリストなどを作成するなどして、ミスの防止や効率性の向上を図っています。
- ・ 学生が主体となって考えた特色のあるキャンパスづくりを支援する制度を作るなど、高専施設の魅力の向上につながる仕組みを作っています。



高専施設の将来像や方向性を定めた
計画の策定



全国の高専の施設系職員向けの
研修会を企画・実施



学生参加型の施設整備の
仕組みを構築
(旧守衛室を多目的スペースに整備)

予算 要求

- ・ 全国の高専を支援する高専機構の職員は、施設整備に関してかなりの経験と専門知識をもっています。
このノウハウをいかし、各高専がより効率的で効果的な施設整備を行うことができるよう、高専職員と共に施設整備計画をブラッシュアップします。
- ・ 緊急度が高い事業を早期に実施できるよう優先順位をつけた上で、国に予算を要求し、各事業の緊急性について理解が得られるよう調整します。



高専と本部のWEB会議の様子



予算要求では文部科学省とも調整します。

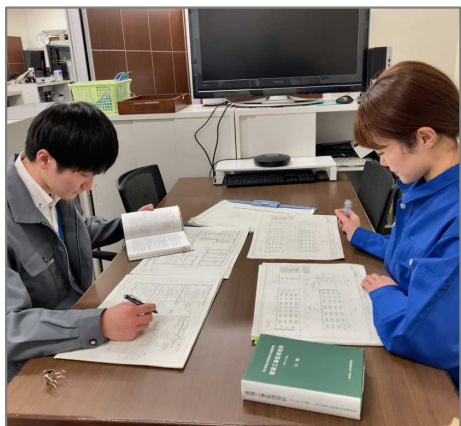
担当者メモ

- ・ 全国立高専の建物面積は、約173万㎡で東京ドーム37個分！
(東京大学と同規模)
- ・ 施設整備予算も150億円程度と膨大です。

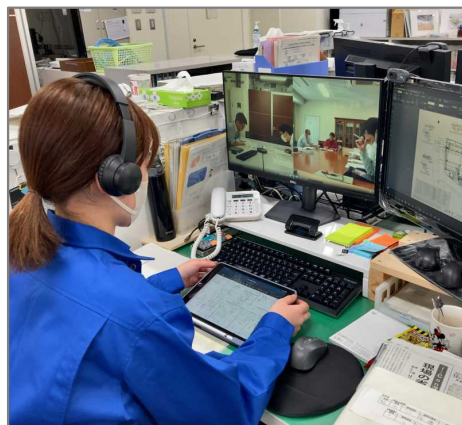


設計 工事

- ・ 設計事務所等が作成した図面や積算が適切なものとなっているか、**高専職員と共にチェック**します。高専職員だけではカバーできない専門分野も、機構本部職員がしっかりとチェックします。
- ・ 工事受注者と高専職員の打合せに同席し、**工事の進捗状況をフォローすると共に、工事中に発生したトラブルに対して対応方策を検討**します。
- ・ 監督職員として各種の検査に立ち会うなど、**各工事が設計図通りに仕上がっているか確認**します。



設計図のチェック



工程会議 (WEB)



工程会議 (現地)



検査職員による
完成検査

● 近年の整備事例

松江工業高等専門学校 実習棟新営



東京工業高等専門学校 国際寮新営



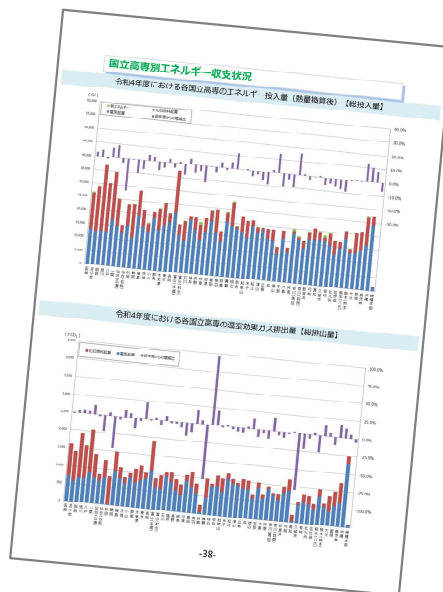
東京工業高等専門学校の施設整備は機構本部で採用された職員が実施します！

担当者メモ

- 近年オンラインでの打合せも増えてきましたが、複雑な議論を行う時や現地を確認する必要がある時には、高専を訪問します。
- 高専施設は全国55ヶ所。全国の工事に携わることができるのは、高専機構の職員ならではの！

維持管理

- ・維持管理に必要な予算を確保するとともに、各高専が**中長期的な視点で計画的に維持管理を行うことができるよう、情報提供や指導・助言を行います。**
- ・全国の高専施設の**建物データやエネルギーの使用状況等を収集・分析します。**このデータは、高専全体に係る今後の方針や方向性を検討する時にも活用されます。
また、**優れた取組みを他の高専に展開したり、取組みが遅れている高専には取組を促します。**



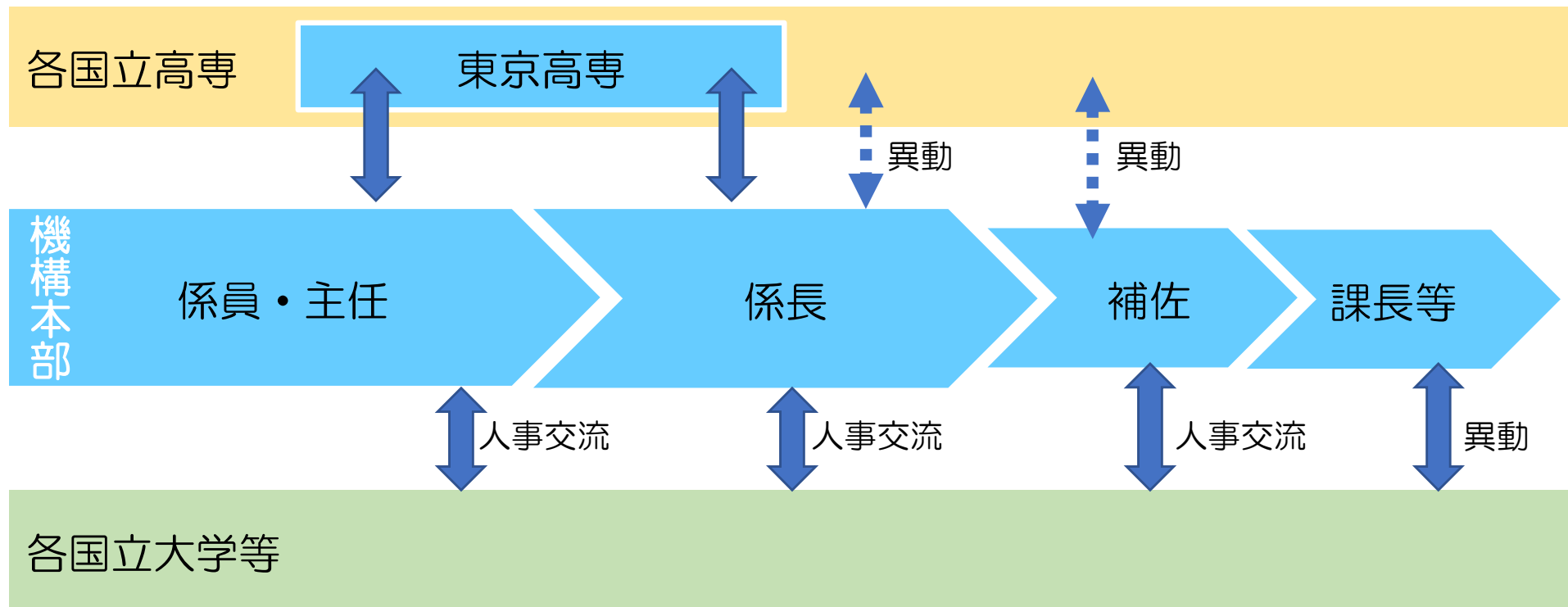
エネルギーの使用状況を把握し、
今後の取組を検討します



機構本部の建物は機構本部の
職員が施設整備や維持管理を
行います

4 高等専門学校機構の施設系職員のキャリアパス

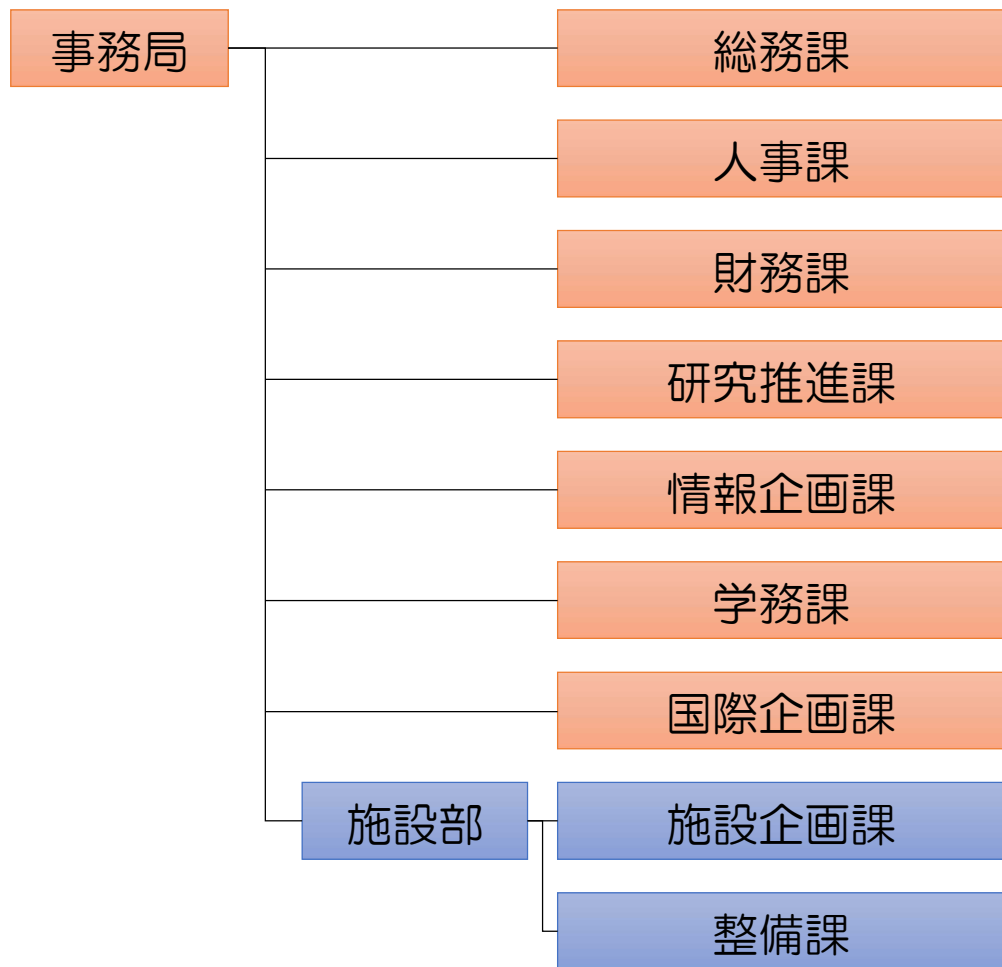
職員の取得資格、能力、勤務評価等により上位ポストに昇進していきます。
本人の希望等を踏まえつつ、国立大学等との人事交流を実施しています。



● 研修制度

- 職員は、機構が開催する各種研修会のほか、国立大学等の施設系職員を対象とした研修会、文部科学省開催の各種セミナー等に参加しつつ知識や技術を取得しています。
- また、機構には、業務に資する技能に係る研鑽及びキャリア形成を支援すること等を目的とした独自の「自己啓発支援制度」があります。

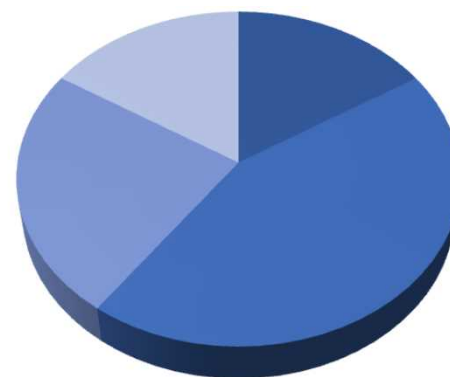
5 組織



● 施設部の職員数（専門分野別）

建築・土木	電気	機械	事務・その他	合計
10人	6人	4人	5人	25人

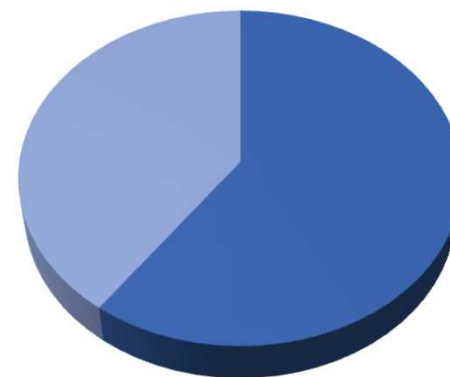
● 年齢層



平均年齢
38.4歳

- 20代
- 30代
- 40代
- 50代

● 新卒・中途（技術職員。出向者等を除く）



- 新卒
- 既卒

● 保有資格

- 建築士
 - 技術士
 - 電気主任技術者
 - 建築設備士
 - エネルギー管理士
 - 施工管理技士
- など

職員インタビュー



計画係 渡邊主任
(新卒入社11年目)

Q 未経験でも本当に大丈夫？

私は入職後、すぐに“寄宿舍”の新築設計・工事に携わりました。業務はイチから教えていただける環境でしたので、未経験でも安心です。穏やかな環境のもと、協力し合いながら業務を進めていくことができます。

Q どんな働き方ができますか？

メリハリのある環境で働くことができます。当部署では残業は少なく、土日祝休みで夏季休暇も取れるなどワークライフバランス充実。有給も取得しやすく、メンバーの中にはオフタイムに筋トレをしている方もいます。

Q 仕事のおもしろさはなんですか？

新しいことにチャレンジしていけることです。施設の保全・工事に関わる業務のほか、『環境報告書』の作成や省エネなどへの取り組みなど、職員として幅広いことに携わるチャンスがあります。

Q 職場の雰囲気は？

個人主義	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	チーム主義
個人の裁量が大きい	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ルールに従う
成果主義	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	プロセス重視
オフタイムの交流が少なめ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	多め
トップダウン	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	ボトムアップ

※個人の感想です



KOSEN
国立高等専門学校機構